（水 産 学 部 ）

受　験　番　号
※

※欄は記入しないこと。

志　望　理　由　書

平成　　年　　月　　日

長 崎 大 学 長　　殿

フリガナ

氏　名

（昭和・平成　　年　　月　　日生）　男・女

私は，貴大学水産学部に入学を希望しますので，ここに志望理由書を提出します。

（ア）水産学部を希望した理由及び入学後に学びたい分野（「長崎大学案内」及び「長崎大学水産学部案内」を参考に，学びたい教育コースを明確にすること。）や卒業後の進路等と，（イ）学校時代経験したことやあなた自身のことなどを自由な気持ちで書いてください。〔（ア）及び（イ）の両方について記入すること。〕

（注意事項）

１．志望理由書は，本人の自筆に限る。

２．この用紙の枠内におさめること。

３．記入にあたっては，ボールペン（黒）を使用すること。

【　長崎大学水産学部の教育コース　】

４つの教育コースの内容について

①　海洋生産管理学コース

海洋に棲息する生物資源を枯渇させることなく，限られた漁場において定められた法秩序のもとに有効かつ適正に生産し，維持・管理するために必要な基礎的理論，解析方法，技術について学びます。さらに，海洋生物産業の実態と将来について社会科学的側面からの解析手法を学ぶとともに，これら有用資源の生産技術，加工技術，流通（国際，国内）までを含めた利用の方法・方策について学びます。海洋生物産業について国際的・総合的な知識を持ち，これらに関する情報を処理し利用するための基礎能力を養います。

②　海洋生物科学コース

地球上の生物の起源が海であることを反映して，海洋生物は極めて多岐にわたっており，陸上生物とは異なった形態，生理，生態上の特性を有しています。本コースでは，海洋生物資源の維持管理・増大，生態系の保全及び遺伝子資源の保護に必要な個体，個体群，群集，及び生産技術，資源培養技術と応用（漁撈・魚病・栄養・育種・人的な管理下での環境管理）について幅広く修得することにより，海洋における水産資源の持続的生産に関する基礎的な考え方と具体的な技術について修得するとともに，国際的な視野を養います。

③　海洋応用生物化学コース

水産生物資源は食品としての活用及び食品以外の機能性物質としての利用が図られています。本コースでは，タンパク質，糖質，脂質，無機化合物を含めた機能性物質の生命活動における役割や，その化学構造と機能との関係を中心に，基礎から総合的に学ぶとともに，食品としての有効利用のための食品加工，栄養，衛生に関する基礎的な考え方と技術を学びます。このことにより，生物資源の特性を生かした有効利用を図るとともに未利用資源の新たな開発等を通して社会に貢献できる能力を養います。

④　海洋環境科学コース

海洋生物資源の生活の場としての海洋環境の特性と，海洋環境と生物の生活との関わり合いについて，海洋の物理学，化学，生物学，地学等基礎的学問の複合的・学際的な分野としての環境科学の視点から学びます。さらに，沿岸域を代表とした，海洋における生物生産の仕組み（基礎生産から高次の生物まで）を理解するための基礎を学びます。このことにより，海洋環境の特性を理解し，自然環境，並びに生物生産の場としての海洋・沿岸の環境保全（評価・予測・改善）について，国際的視野を持って考察する能力を養います。